

# 基老連 ニュース

\*36号

基老連の目的  
ボケ防止のために、老人団体同好者の誰もが  
『基老連』ことこれまで出来たよう、機会と場所  
を確保するために相談会し、団体を通じて親睦  
を図り、更には、より良き福祉社会の建設に貢  
献することを念願とする。

発行日	平成5年1月8日
発行所	八王子の基を架む老人連合
〒193	八王子市初沢町1434-46
TEL	(0426) 66-3754
発行人	熊崎正一

## 新年あめでとうございます

旧年中はいろいろと御世話をありがとうございました。  
御懇様で、オ2回ボケ防止のための座談会を4地区で開催し、オ2回(4月~9月)  
及びオ3回(10月~来年3月)の基老連研修会(有致者40名、級位者40名計80名の定員制)  
を実施し、更に、基老連振替会によるオ3回NTT教老用基大会も好評裡に開催されました。  
この上、基老連の基盤を着実に整備されて参りましたと確信しております。  
これも備えに、会場を提供して下さった市民センターや総合福祉センターと技術懇親会  
の方々及び会員による大会委員、競技委員と研修部員等の御協力の賜と心から感謝しており、  
本紙上を通じ改めて御礼を申し上げます。  
本年度は、いよいよ基老連内規による業務運営指導委員会が本格的活動を開始するに  
つて参り次第ので、尚一層の御協力と御指導を賜りたいと願い申し上げます。

平成5年元旦

八王子の基を架む老人連合	相談役	三浦	猪
会長	(広報 管理)	崎	一郎
副会長	(技術顧問会長)	永	信七
"	(研修部長)	田	平
"	(表彰 執行)	木	猪
川寿園基同好会会長	(事務局長)	野	実光
元八王子	"	橋	勝
大和田	"	木	勝義
中野	"	本	和
由木	"	成	栄
由井	"	吉	和
北野	"	伊	正
長	"	山	榮
手安地区の寿園基同好会専属準備委員長	"	藤	一徳
	"	崎	一

### 御挨拶

深山の音より賀状を頂戴し、誠に有難い次第と感謝しております。  
早速返状を書くべきでござりますが、毎年新年まで御願い申し上げておりますが、基  
老連の業務を専念させて頂き、賀状を始め、慶弔關係、病院見舞等日々の御付を  
含めはお忙いに見合せることになつておりますので、失礼ながら本紙上を借りて御挨拶  
させて頂きます。恐しからす御了承下さい。

平成5年元旦 熊崎正一様

## 年頭の所感

基老連会長 熊崎正一

本年度は、昨年12月5日の臨時総会において決議されましたように、基老連内規による業務運営指導委員会（本年度よりボケ防止のための啓発運動推進委員会と改組）の本格的な活動を開始致します。

従つて、オハ段階として新サークル結成に伴う対局場の確保が問題となりますが、早急に市や町会の公的施設と用基セットの整備を要請することに努めます。併せて、八老連にも全面的な御協力を願う所存です。

然しながら、本件については難航しい問題を抱えており容易な事案ではないことを充分承知しておりますが、何として解決しない以上には前に進みませんで、目的完遂のため不退転の決意を以つて臨みますから、よろしく御協力願います。

次には、会員各位の周辺におかれます基が打ちたても打てない低い級位の方々に「ボケ防止のために基を打ちましょう」運動の趣旨を御説明して頂き、用開を促すと共に老人会の御協力を得て新サークル結成の準備を進めて下さい。以上2件は、ボケ防止の啓発運動を推進する上での基本的条件であり、本年度の目標と定めて努力致す所存ですから尚一層の御指導と御協力を賜りますよう御願い申し上げます。

## 会員名簿の掲行

平成5年1月現在

団体名	会員名	住所	電話	会員数
城川基老連会	保屋野正貴	元八木町3-2584	64-0906	40名
元八王子	高橋 實	不思方町1168	51-6753	33名
大和田	八木義光	大和田町5-34-3-301	42-3093	35名
中野	阪本 勝	みづい台2-33-6	91-4074	27名
由木	吉成 進	南大沢3-14-4-102	76-6192	40名
由井	奥山知英	小比企町807-1	26-3618	23名
北野	伊藤 栄一	緑ヶ丘2-59-7	36-1668	30名
辰彦	小西 徹	辰彦町230-17	63-7684	28名
小安(会員準備中)	(候)笠田政治	台町2-11-21	24-0577	18名
計				274名

## 60才以上の有効者名簿(平成5年1月現在)

基会所因縁を調査しておりませんので末尾の名簿と御承知置下さい。

地区別	会員	非会員	計	地区別	会員	非会員	計
城川	40名	63名	103名	由井	23名	38名	61名
元八王子	33名	19名	52名	北野	30名	45名	75名
大和田	35名	37名	72名	辰彦	28名	32名	60名
中野	27名	25名	52名	小安	18名	25名	43名
由木	40名	19名	59名	合計	274名	304名	578名

## 基老連の業務運営指導委員会に関する内規

### 1. 目 標

基老連の目的としている「不正防止のために、老人団基同好者の誰もが『基老連して』こと出来るよう、機会と場所を確保するために相携力し、団基を通じて親睦を図り、更に、より良き福祉社会の建設に貢献することを念頭にすると共実践的に行なうための機関として規定する。

### 2. 構 成

- (1) 会員長 基老連会長
- (2) 副会員長 基老連副会長
- (3) 会員 基老連常任理事会
- (4) 指導員 年間基同好会会員
- (5) 改力員 会員外

### 3. 業務運営

- (1) 会員長は、業務全般を統括する。
- (2) 副会員長は、次の人事を担当する。
  - ① 指導員 年間基同好会の会員で、会員の推薦者を任命する。
  - ② 改力員 会員外で、業務運営に付ける改力員を任命する。
- (3) 会員は、城内における業務の運営を担当する。
- (4) 指導員と改力員は、団基部や団基サークル（以後は、新サークルと呼称する）の結成を指導する。

### 4. 事業活動

- (1) 新サークルの結成指導關係
  - ① 情報収集活動
    - (1) 会員に対し、活動中の団基部や団基サークルの情報提供を依頼する。
    - (2) 市老連に対し、今下の老人会団基部の情報提供を依頼する。
    - (3) 每年11月調査の級位者名簿により、概当者を述べ、参加希望者の情報提供を依頼する。
  - (2) 其他、可能な範囲で情報収集に万巻を期す。
  - (3) 平成3年12月より活動を開始する。
- ② 前記による情報に基づく級位者名簿（会員候補者）を整備し、平成4年11月（予定）より本格的に新サークル結成のための指導業務を開始する。
- (4) 結成計画に基き活動を行ふ。
- (5) 無因保証同好者たりの結成指導要請に対する、可能限り改力する。
- (6) 場合によっては、既存の団基部や団基サークルとの合同又は、参加も検討する。

(2) 新しく結成した新サークルの承認を図るために、組織化を推進する。

### 5. 社会奉仕委員会を設け、对外事業の積極的実運営を図る。

(1) 構成は、基老連の会長、事務局長、研修部長、顧問会長、表彰担当及び伝統担当の副会長とする。尚、对外窓口は基老連会長とする。

#### (2) 下記事業を推進する。

##### 1. 職員団の受理開始

平成5年後期（予定）に実施する。

① 小学校等其他の施設等の要請による指導員の派遣

平成5年後期以降において、要請が切れず可能な限り対応する。

但し、この場合、日本棋院の積極的実際改力が条件となる。

② 共同他、団基連携事業。

以 上

(付則) 平成3年11月23日の臨時総会において、全面的に改正した。

(3)

## ボケア防止のための啓発用基大会に関する業務要領について

首題の件シ、各団体者より業務を円滑に推進するため、大会運営に関する業務の具体的な内容と処理方針を基準連ニュースに掲載しては如何との御要望が寄せられましたので、現在実施中の処理方法について御報告申上げます。

尚、特に御意見をお持ちの方は遠慮なく御申出頂き御指導下さい。

### 記

#### 1. 大会委員について

##### (1). 会場の使用手続き

センター受付に使用承認書を提出し、即刻会場の設定に取りかかる。

##### (2). 会場の設定

1. 対局場は、参加人員により予めクラス別の対局場所を定めておき、参加者を勘査して遅滞なく整備する。

口、室外の適当な場所に「クラス別参加受付」を参加人员に応じ適宜配置する。

ハ、室内に「クラス別対局受付」のテーブル上に名札を配列しておく。(競技委員会合の元に対局票を提示して引渡して頂くことになっています。)

二、公示用の大会成績表を受付後壁部に貼付け。

木、食事・喫茶室には、ペットと茶碗を用意しておき、自由に利用して頂く。

尚、担当引番所は、同所に併設する。

ハ、候補検査室は、基準連役員、審判、競技委員、大会委員等に利用して頂く。

##### (3). 会場の巡回手続

競技会終了後、会場は元の状態に戻し、清掃した上でセンターに返還する。

##### (4). 業務の運営

###### 1. 参加口受付

(1). 参加口受付テーブル上に、対局票、大会成績表控(参加及び入金記録用として代用)、大会実施要領、弁当引替券、現金処理箱を置く。

(2). 参加料金を受取り、対局票、大会実施要領と弁当引替券を渡す。

(3). 開会式(9時50分予定)の時間前に一応点検を行い、クラス別参加者数及び参加料金額の明細を作成し、大会委員長に提出する。

口、大会委員は、次の通り措置する。

(1). 10時までに弁当確定数を担当者に報告する。

(2). 競技委員長に大会成績表控を渡す。

(3). 基準連会長に参加明細と入金額を渡す。

###### (4). 開会式後の措置

1. 公式表示の大会成績表は大会委員長が持返す。

口、借用の用具セット、記章、文房具類、会場整理用の表示用紙等を競技委員長に渡す。

ハ、名札は、会員分(委員長持参)と非会員分(会員長持参)と非会員分(基準連会長)に渡す。

二、対局票と大会成績表控は、基準連会長に渡す。

##### 2. 競技委員について

次回開催に当る寿園基同好会は、事前に開催の大會運営に慣らすために、競技委員4名(1名は委員長)を選出し派遣する所に於いています。

###### (1). 競技開始前の措置

1. 「クラス別対局受付」テーブル上の名札を、対局票の提示を受けて引渡す。

口、着席中の対局者に喫茶用のペソワ茶を渡す。

###### (2). 競技の進行関係

1. 規定されている各回戦の時間割により対局開始の指示を行う。

尚、持時間制のため指示前の対局は絶対禁止とする。

###### 2. 持時間の管理

1. 対局開始後、1時を経過した場合は、その旨対局者に宣告し、審判の判定を求めるか、又は10分間会長より球を付けるかを問い合わせ、対局者の

意向上従う。

- (2), 審判要請の場合は、審判員に連絡し判定を求める。  
 判定によって、対局者が対局案にその旨記入して競技委員に提出する。  
 (3), 10分間延長の場合には、既定時間に勝敗が決していないときは延長を行つた。  
 但し、対局者の一方が負けを認めた場合は、この限りにあらず。

八、大会成績表控に1回戦の勝敗を記録し、2回戦以降の対局者及び勝敗を記入する。

二、公用印用の大会成績表には前記控により記入する。

(3), 対局案の処理

1. 対局者は、勝敗が決定したときは対局案に記入し、翌日に確認欄に競技委員に提出する。

口、競技委員は、成績表控に記入した後、対局案を勝ち組と負け組に区分して一時保管する。

八、各回戦の今分前までに対局案を引渡すに先立ちの対局者を決定し、保管中の対局案に記入すると同時に成績表控にも記入する。

(4), 対局者の決選方法

1. 1回戦は同士打ちがないときに回合別に対局案を2組に分け、トランプ式で切つて後交互に組合せを決める。

口、上、対局案に番号を振り付け、最後に票が残れば"不戦勝扱いとする。

口、2回戦以降の取り組みは、勝ち組は勝ち組同士でトランプ式に切つた後相手方を決め、残った勝ち組案は不戦勝扱いとする。

負け組の場合は前記同様の処理を行つ。

尚、不戦勝扱いは一人1回限りとする。

八、対局案が全部揃うまでは待つては瞬間に間に合わないと認められるとされ、通常に分割して取り組みを行うものとする。

尚、制限時間一杯かかる対局に對しては勝ち負けの投票を2枚作成して、勝敗結果票と混ぜ合わせた上で"取組みを決定しておる。

(5), 決勝戦進出者の決定方法

1. 決勝戦は4名以上で行う。

口、3連勝者が決勝戦に進出する。

八、参加人員の都合で3連勝者が4名に満たない場合は、次の勝者より補充する。  
 但し、補充候補者が無い場合はアミダ式抽選により候補者を選出する。

(6), 石札の返還について

1. 決勝戦進出者以外は、予選終了後に競技委員に返還する。

口、決勝戦進出者は、閉会式終了後に競技委員に返還する。

(7), 閉会式後の措置

1. 対局案、大会成績表控、名札と大会毎員良に引渡す。

口、大会毎員良大リ次回開催用の借用箇所セット、記章、文房具類、会場整理用の表示用紙等が引渡されないので"検収にて持帰る。

3. 基光連の担当業務について

(1), 基光連会員又は基光連競技委員長が司会役を務める。

(2), 基光連は基光連が作成し、大会当日又は大会前に大会委員長の御手元へ届ける。

(3), 対局案、大会成績表(公用印及び控)、各会員分の名札等は基光連で作成し、大会当日届ける。

(4), 年当の競光配達は基光連が手配する。但し、由木の場合は現地調達とする。

(5), パック券(公用印と年当添付用の2枚)は基光連が準備し、大会当日届ける。

(6), 賛状に入賞者名を書く担当者は、出来ただけ地元で"選定して便をたいが、無理な場合は、基光連で手配する。

以 上

(5)

読売新聞八王子支局  
支局長 太田 光彦 殿

No.

平成5年1月5日



八王子市老人連合会  
会長 黒崎 正



### 読売新聞社御後援の申請に関する件

前題の件に因り、基老連(略稱)の下記より事業に対する御後援賜り  
たく申請致しましたので、ふろしく御願い申上げます。

記

#### 1. ボケ防止のための啓発運動推進委員会について

昨年の12月5日臨時総会において、平成5年度より「ボケ防止のため  
に基老折ちましろう」運動を展開することを決定致しました。

本件については、去る平成2年内規で「業務運営指導委員会」制度  
を決定致しましたが、その趣旨として、停年後の余生を基老集み会が  
ら自らのボケ予防に努めると共に、停年退職後に基老止めざるを得  
なかつた低い級位者数千人(基老連調査によるもの以上)有段若  
575名(名は入り推定)の方々に改めてボケ防止のために基老用開して頂  
こうとの念願からです。

然しそれ、当時の情勢は会員同においても"基老樂しませんために参加したの  
であつて、そのような煩わしい事には関与しない"と云う方が案外  
多く、ボケ予防の専用基老同好会の内2ヶ所の同好会で"全員脱会"と云う  
ような愛き目に逢い、已もを得ず本日現は一時保留と云うことになつ  
てしまいました。

昨年乗じた趣旨をよくやく理解されたにより、推進体制も整備され  
て参りましたので、いよいよ平成5年度より実施に踏切ることになりましたよ  
う承次第です。

尚、内規の「業務運営指導委員会」の名稱を、今回開始に当り本来の  
「ボケ防止のための啓発運動推進委員会」に改稱致しました。

#### 2. 基老連会員の開基大会について

##### (1). 地区別名人戦

1. 地区別名人戦(リーグ戦)3月～6月×9月～12月の年2回
2. " 王座戦(トーナメント戦)敗者復権)1月と7月の年2回
3. " 天狗戦(トーナメント戦)2月と8月の年2回

##### (2). 基老連園競

###### 1. 団体対抗戦

2月より8月まで、専用基老同好会チーム(有段者6段、6名)による總当たり戦

(6)

2.

開催日	対 戦	対 戦	対 戦	対 戦
2月21日	元 八 緑川	大和田 中野	田木 北野	長房 由井
3月21日	緑川 大和田	由井 元八	中野 田木	北野 長房
4月18日	由木 緑川	元八 大和田	田木 北野	長房 中野
5月16日	北野 緑川	長房 元八	大和田 由木	中野 田井
6月20日	緑川 中野	元八 北野	大和田 長房	由木 由井
7月18日	由井 緑川	元八 中野	北野 大和田	長房 由木
8月15日	緑川 長房	由木 元八	大和田 由井	中野 北野

※: 左側が主催チーム

## 口、暴走連囲碁大会

11月5日、全会員278名により個人戦

## ハ、暴走連タイトル戦

平成6年1月16日、各地区の名人、王座、天狗により下記のタイトル戦を行

1、暴走連八王子名人戦

口、 " " 王座戦

ハ、 " " 天狗戦

## 3. ボケ防止のための啓発囲碁大会について

ボケ防止の啓発運動の一環として八王子市の囲碁爱好者(60名以上、10組以上)

による大会を一昨年以来実施して参りましたが、恒例行事として今年も下記の通り開催致します。

開催日	主 催	会 場	住 所	電 話
2月 7日	緑川有囲碁同好会	総合福祉センター	東緑川町 551-1	67 1331
2月28日	元 八 "	元八市民センター	上尾町 249-1	51 3960
3月14日	中野 "	中野 "	中野町 2726-1	27 6221
3月28日	大和田 "	大和田 "	大和田町 5-9-1	45 8980
4月11日	由 井 "	由 井 "	片倉町 2380-3	35 8028
4月25日	由 木 "	由 木 "	下柚木町 648	76 8123
5月 9日	北野 "	北野 "	北野町 543-3	43 0440
5月23日	長 床 "	横山事務所	並木町 15-15	61 1281
7月 4日	暴走連	総合福祉センター	東緑川町 551-1	67 1331

## 4. 暴走連研修会について

ボケ防止のための啓発運動の一端として平成3年10月よりオ1期6ヶ月間の暴走連研修会(相談者40名、級位者40名計80名定員制)を開設しましたが、現在は昨年10月よりオ3期研修会を実施中です。

研修会は、総合福祉センターを会場としてオ2、オ3、オ4土曜日の午後1時より今時までを研修時間とし、技術指導は相談者クラスには八王子のトップクラス(8段格)の方9名が交替で毎回2名宛て担当され、級位クラスには会員で8段格の方2名が毎回担当されている。

以 上

八王子市長  
波多野重雄殿

平成4年12月1日

八王子市議会議員  
野田てるじ  
八王子の森を樂む老人連合  
会長 熊崎正一

アマ国碁日本一の三浦 浩氏に市民栄誉賞を推薦の件

八王子市出身の三浦 浩氏は平成4年7月20日朝日アマ国碁十傑戦全国大会において優勝し、16年振り45才にして本年度アマ国碁日本一の栄冠を獲得されました。

(別紙添付N.O.2、日本棋院発行の週刊「碁」の記事を御参照下さい)  
この際、同氏の輝ける栄誉に対し、市民栄誉賞を授与して頂きたいと懇願して御推薦申し上げる次第です。  
何卒、格別な御高配を賜り御承認下さいますよう御願い申上げます。  
尚、推薦事由について下記の通り御報告します。

記

1. 三浦 浩氏の略歴 (八王子市出身で現住)

生年月日 昭和21年8月26日

本籍地 八王子市中野山王1363

現住所 八王子市中野山王1-14-1

勤務先 大木建設(株)営業部長(一部上場)、千代田区神田須田町1-23-2

2. 三浦 浩氏のアマ国碁全国大会成績表 (日本棋院調べ)

朝日新聞十傑戦(名人)			毎日新聞、本因坊戦			日本棋院、世界アマ日本代表戦		
年度	回数	順位	年度	回数	順位	年度	回数	順位
昭和50年	15	優勝	昭和46年	17	優勝	昭和57年	6	2
" 51	16	優勝	" 47	18	2	" 62	10	2
" 57	22	2	" 49	20	優勝	平成元	12	優勝
" 58	23	2	" 51	22	2	" 3	14	2
平成3	31	2	" 54	25	優勝			
" 4	32	優勝	" 55	26	優勝			
			" 57	28	2			
			平成元	35	2			

注: (1), 2位以下の順位は省略した。

(2), 十傑戦には17回参加し17回決戦内に入っている。

3. 三浦 浩氏の市及び市民に対する貢献度について。

別紙添付のN.O.1を御参照下さい。

以上

(△)

別紙添付料1号三浦 浩氏の市及び市民に対する貢献度について

## 1. 八王子市民のために、積極的に寄与している。

脚色化中の身ながらも、会社の休日を利用して毎月オーナーの日曜日に八王子国際研究会において、市民に国際の指導をされている、NTT主催の敬老国際大会の競技委員長として毎年参画されている、更には、八王子の墓石業界と老人連合の相談役として事業推進のために協力されている等、八王子市の文化振興のために寄与されている。

## 2. 文化都市八王子のイメージアップに貢献している。

昭和46年以來21年間に亘り各種の国際大会において、三浦 浩の名前と同時に八王子出身と表示されている。

従つて、国際アンク同様では、三浦 浩と云えば「八王子市」であり、八王子市と云えば「三浦 浩」が連想される状態です。

このような状況下において三浦 浩に市民栄誉賞が授与されたと仄れば、マスコミにより文化都市八王子の名声が全国的に宣伝されることは必定と確信しております。

## 3. 人間形成の規範としてアピールする。

国民栄誉賞の創設以来、各県市等において栄誉賞制度が普及化されたり、全国的なブームを説いていながら復讐が見受けられます。

然しながら、現在実施されている栄誉賞は体育関係が殆んどを占めており、文化関係では非常に難堪な現状のようです。

この状況下において、三浦 浩のようなくる年間に亘り全国的なトップクラスの座を維持し、メダリにて再度日本一になら等の快挙は、体育関係では殆んど不可能な事柄であり、文化関係としても稀有な現象ではないでしょうか。

従つて、この際、同氏の精進努力の絶頂を市民栄誉賞オーナーとして受け入れて復讐すれば、人間形成の規範として絶頂を極める事は間違いない、全国の文化人に好んで採用される事には必定でしょうね。

更に、八王子市にとっても名譽あることであり、市民には誇りと感激を以つて迎えられ、特に次世代の青少年に「希望と向上心」を与える育成結果は計り知れないものがありあり。

## 4. 三浦 浩氏の人物について。

同氏は、人格・識見共に優れ、人の節操に立つ人物にて、市民栄誉賞授賞者として申し分のない人物と尊敬しております。

以上

注：別紙添付NO.2、日本棋院発行の週刊「碁」の記事は、紙面の都合で墓葬ニュースでは割愛させて頂きました。

### ボケ防止のための囲碁団碁元八王子大会の開案内

開催日時 平成5年2月28日午前9時  
 会 場 元八王子市民センター（上高井戸町747-1, 電51-3960）  
 主 催 元八王子囲碁同好会（会長高橋寅, 下鬼子町1168, 電51-6753）  
 共 催 八王子の碁を樂む老人連合（碁老連）  
 後援 八王子市, 八王子教育委員会, 日本棋院, 読売新聞八王子支局  
 参加料 費 600円（弁当, パック茶付）  
 参加資格 爺の元八王子事務所, 恩方事務所及び美山町に在住している60才  
 以上の囲碁同好者（10級以上）  
 表彰 彰 奒 分クラス別に入賞者（3位まで）を決定し, 賞状を授与する。  
 特別賞 栄 奒 成績により下記大会に推薦する。  
     1. 7月4日ノ碁老連八王子大会  
     2. 9月開催のNTT放送囲碁大会  
 参加申込 1. 会員は同好会会員上, 研修会員は研修部長上直接申込む。  
     2. 徒歩ハガキによる招待者（非会員）は返信ハガキにエリ申込む。  
     3. 読売新聞紙に於て応募者は通常ハガキに次の条件を記入して申込む。  
         氏名, 生年月日, 級・級位, 住所, 電話, 新聞社名  
 参加締切 開催日の一週間前（必着）とする。  
 特別注意事項 但し, 定員超過の場合は即時打ち切りとし, 其の旨電話により連絡（村）,  
 自家用車は御遠慮下さい。

以 上

### 永安浩二氏、第ナ本因坊大会で優勝

碁老連技術顧問の永安氏は、毎日新聞主催、安田大炎後援の平成4年度  
 本因坊戦が、去る6月21日国分寺勤労福祉会館で行われ優勝されました。  
 参加者は約70人、準々決勝では荒井良夫氏（碁老連技術顧問）、準決勝では  
 青木英明氏、決勝では玉木氏と、名だたる強豪を擊破しての価値ある優  
 勝と稱えられて“ハカラ御祝い申し上げ”ます。  
 全国大会は、8月21日に日本棋院で行われ、東京代表（23区内から2名、計ナ地  
 区1名）として参加し、1回戦は大阪代表に勝ちましたが、2回戦は岐阜代表に  
 勝敗未定でした。

因みに、同氏は過去においても第ナ本因坊戦に優勝しており、今回で2回目と云  
 うことのようで“すべ矢張り全国大会の壁は厚いと云うことで”でしょうか。  
 殊、アスケニアの囲碁大会は、毎年2月ごろアマチャミ戦、6月ごろ本因坊戦、10月  
 ごろアマ世界選手権戦がありま。

お詫び：永安さんには、お35歳では御報告することになつておられましたが、当方の年違いで  
 年を越してしまいました。誠に申訳ありませんから御詫びを申し上げます。

(10)